ARROWS Z FJL22

取扱説明書

CA92002-8794

ごあいさつ

このたびはARROWS Z FJL22(以下、「FJL22」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『FJL22設定ガイド』『取扱説明書』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』(本書)を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■ 『FJL22設定ガイド』／『取扱説明書』(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、FJL22で利用できる『取扱説明書』アプリケーションやauホームページより『取扱説明書詳細版』をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

■ 『取扱説明書』アプリケーション

FJL22では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションを利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。
ホーム画面で⁂→「取扱説明書」

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL:
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

安全上のご注意

FJL22をご利用になる前に、「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE／CDMA／GSM／UMTS方式は通話上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- FJL22は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- FJL22はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFJL22の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFJL22に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。

マナーを守ろう

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。
周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■ こんな場所では、使用禁止！

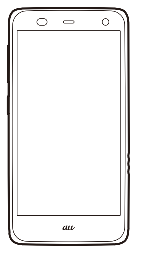
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

本体付属品および主な周辺機器について

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

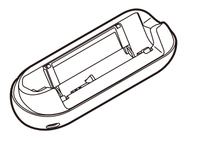
■ 本体

FJL22

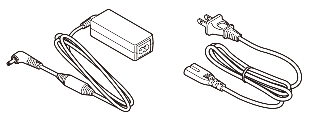


■ 付属品

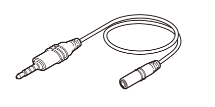
卓上ホルダ(急速充電対応卓上ホルダ:FJL22PUA)



ACアダプタ(卓上ホルダ専用ACアダプタ:FJL22PQA)



TVアンテナケーブル(フルセグ対応TVアンテナケーブル:01FJHSA)



- FJL22設定ガイド
- 取扱説明書(本書)
- 安全上のご注意
- 携帯電話機の比吸収率などについて
- 本体保証書
- 卓上ホルダ専用ACアダプタ保証書

以下のものは同梱されていません。

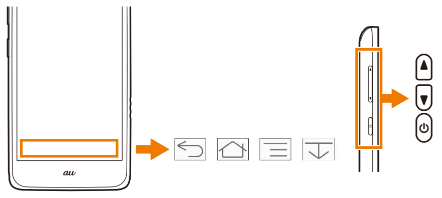
- microSDカード
- ステレオイヤホン
- microUSBケーブル

- 本文中で使用している携帯電話および周辺機器のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

本書の表記方法について

掲載されているキーについて

本書では、キーの図を以下のように簡略化しています。



項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です(▶P.19)。

表記例	意味
ホーム画面で☎(NX!電話)→「1」「4」「1」→「発信」	ホーム画面左下の☎をタップします。続けて 1 、 4 、 1 の順にタップして、最後に「発信」をタップします。
ホーム画面で⁂→「設定」	ホーム画面下の⁂をタップし、表示されるメニューから⚙をタップします。
☰→「本体設定」	☰をタップして、表示されるオプションメニューから「本体設定」をタップします。

※本書で明記していない場合は、操作手順はホーム画面からの操作を説明しています。

掲載されている画面表示について

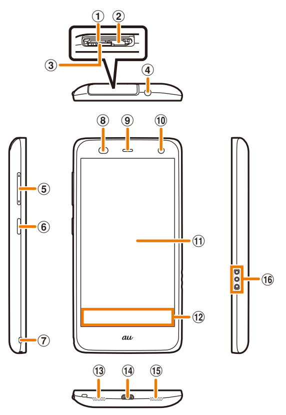
本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の上下を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

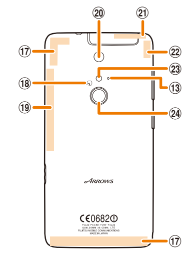
memo

◎ 本書では、本体カラー「ホワイト」のお買い上げ時の表示(壁紙、アイコンなどのデザインテーマ)を例に説明していますが、実際のキーや画面とは字体や形状が異なっていたり、一部省略している場合があります。また、本書のイラストと本製品の形状が異なることがあります。あらかじめご了承ください。
◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」「microSDHC™メモリカード(市販品)」「microSDXC™メモリカード(市販品)」の名称を、「microSDカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎ 本書では、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作や指紋認証や顔認証を行う操作を「認証操作」と表記しています。

ご利用の準備

各部の名称と機能





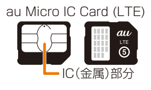
① **microSDカードスロット**
② **赤外線ポート**
③ **au Micro IC Card (LTE)スロット**
④ **ステレオイヤホン端子**
⑤ **音量キー ▲／▼**
⑥ **電源キー⏻**
電源が入っているときに長く押して、携帯電話オプションメニューを表示します。
短く押してスリープモードを設定／解除します(▶P.17)。
⑦ **ストラップホール**
⑧ **近接センサー／RGBセンサー**
近接センサーは、通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーです。
RGBセンサーは、周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節します。
⑨ **受話口(レシーバー)／お知らせLED**
電話着信中や未確認の不在着信、新着メールの通知があるとき(通知設定時)などは、設定に従って点灯します。
⑩ **インカメラ**
⑪ **ディスプレイ(タッチパネル)**
⑫ **ナビゲーションバー**
⑬ **送話口(マイク)**
⑭ **外部接続端子**

⑮ **スピーカー**
⑯ **卓上ホルダ用充電端子**
⑰ **内蔵アンテナ部分**
⑱ **マーク**
⑲ **FMトランスミッタアンテナ部分**
⑳ **アウトカメラ**
㉑ **GPSアンテナ部分**
㉒ **Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部分**
㉓ **モバイルフラッシュ**
㉔ **指紋センサー**
画面ロックを解除するときなどに使います。

memo

◎ 近接センサー／RGBセンサー／内蔵アンテナ／GPSアンテナの上にシート類(覗き見防止シートなど)やデコレーション用のシールなどを貼らないでください。
◎ 通話中に近接センサー／RGBセンサーをふさぐと、画面が消灯します。
◎ FJL22を持つとき、内蔵アンテナ付近を指や金属物などで触れたりおおったりすると電波感度が弱まることがあります。
◎ 通話中や録音中は、送話口(マイク)を手などでおおわないようにしてください。
◎ 赤外線ポートをご使用になる場合は、スロットカバーを開いてください。

au Micro IC Card (LTE)について



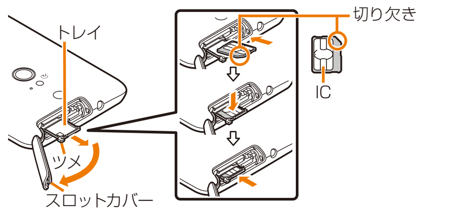
au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。FJL22にau Micro IC Card (LTE)が正しく取り付けられていないと、電話の発着信やメールの送受信などの操作が行えません。また、お客様の電話番号などが必要なその他の機能がご利用できない場合があります。
FJL22はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードまたはmicro au ICカードを差し替えてのご利用はできません。

au Micro IC Card (LTE)の取り付けかた／取り外しかた

- au Micro IC Card (LTE)の取り付け／取り外しは、FJL22の電源を切ってから行います。

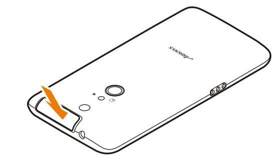
■ au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

1 **ディスプレイ面を下に向けてスロットカバーを開く**
2 **トレイのツメに指をかけてトレイをまっすぐに引き出す**
- au Micro IC Card (LTE)のトレイは、外れる構造となっています。なくさないようにご注意ください。



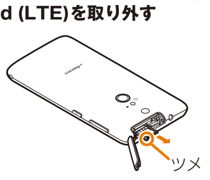
3 **au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を上にしてトレイに載せ、奥に差し込む**
- 切り欠きの方向にご注意ください。

4 **スロットカバーが浮いていることがないように確実に閉じる**



■ au Micro IC Card (LTE)を取り外す

1 **ディスプレイ面を下に向けてスロットカバーを開く**
2 **トレイのツメに指をかけてトレイをまっすぐに引き出し、au Micro IC Card (LTE)を取り外す**



3 **トレイを奥に差し込み、スロットカバーが浮いていることがないように確実に閉じる**

memo

◎ au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
  - au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分や、FJL22本体のICカード用端子にはできるだけ触れないでください。
  - 正しい挿入方向をご確認ください。
  - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
◎ au Micro IC Card (LTE)を正しく取り付けていない場合やau Micro IC Card (LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎ 取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。
◎ 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因となります。

充電する

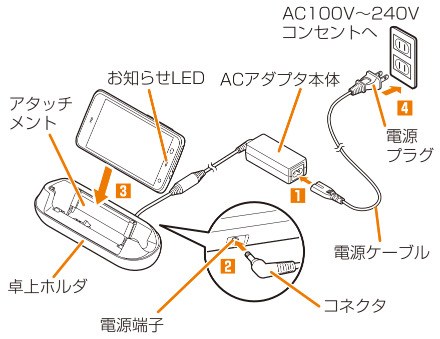
お買い上げ時は、十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。
内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の充電で使える時間が次第に短くなります。

卓上ホルダとACアダプタ(付属品)を使って充電する

卓上ホルダとACアダプタ(付属品)を使って充電する方法を説明します。

1 **電源ケーブルをACアダプタ(付属品)本体に差し込む**
2 **ACアダプタ(付属品)本体のコネクタを卓上ホルダの電源端子に差し込む**
3 **FJL22を卓上ホルダにカチッと音がするまで押し込む**
4 **電源ケーブルの電源プラグをコンセントに差し込む**
5 **お知らせLEDが赤色に点灯していることを確認する**
- 充電が完了すると消灯します。

6 **充電が終わったら、電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜き、FJL22を卓上ホルダから取り外す**
7 **ACアダプタ(付属品)本体のコネクタを卓上ホルダから抜く**



memo

◎ FJL22を卓上ホルダに取り付けたまま発信したり、電話を受けたり、通話をしないでください。
◎ 卓上ホルダのアタッチメントを外すと、FJL22に市販のカバーを付けた状態で卓上ホルダでの充電ができます。アタッチメントは上にずらすように取り外します。ただし、カバーによっては充電できない場合があります。
◎ 卓上ホルダで充電する前に、充電端子に汚れがないことを確認してください。汚れている場合は、綿棒などで掃除してください。

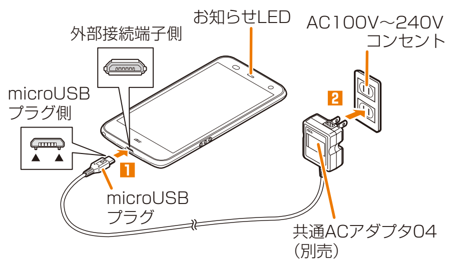
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

共通ACアダプタ04(別売)を使って充電する方法を説明します。(お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。ご了承ください。)

1 **FJL22の外部接続端子に共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBプラグを差し込む**
- microUSBプラグには向きがありますので、プラグ端子の凸部(▲部)を下に向けて、外部接続端子にまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、FJL22の外部接続端子が破損する原因となります。
- 外部接続端子は防水性能を有していますが、水がたまった状態では絶対にmicroUSBプラグなどを接続しないでください。回路のショートなどによる故障や、やけどの原因となります。

2 **共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V～240V)に差し込む**
3 **お知らせLEDが赤色に点灯していることを確認する**
- 充電が完了すると消灯します。

4 **充電が終わったら、共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントから抜く**
5 **microUSBプラグを持ってまっすぐ引き抜く**



memo

◎ FJL22とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続しても充電ができます。パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **⏻を2秒以上押す**
お知らせLEDが緑色に点灯し、FJL22が1回振動します。しばらくすると、ロック画面が表示されます。
2 **ロック画面で任意の方向に 🔒 をスライド**
ロックが解除され、ホーム画面が表示されます。

memo

◎ ⏻を押してからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。電源を入れ直すよう警告メッセージが表示される場合は再起動してください。
◎ 初めて電源を入れたときは「auへようこそ」の画面が表示されます。
◎ 初めて⁂をタップしたときは、操作方法に関するガイドが表示されます。

電源を切る

1 **携帯電話オプションメニューが表示されるまで、⏻を押したままにする**
2 **「電源を切る」→「OK」**
- ⏻を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

初期設定

お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、「auへようこそ」の画面が表示されます。auかんたん設定が終了すると、続けてARROWS はじめに設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各設定を行ってください。

1 **auへようこそ画面で「次へ」**
2 **「au ID設定」で「au IDを設定する」**
確認画面が表示されます。内容を確認して「OK」をタップし、au IDを設定します。
3 **「データの引継ぎ設定」を設定→「次へ」**
- 引継ぎデータがある場合は設定後「同意して次へ」をタップします。

4 **「バックアップ設定」を設定→利用するサービスにチェックを入れ「同意して次へ」**
- 利用規約とサービス概要をご確認ください。

5 **「auウィジェット／LISMO設定」を設定→利用するサービスにチェックを入れ「同意して次へ」**
- 利用規約とサービス概要をご確認ください。

6 **「あんしんサービス設定」を設定→利用するサービスにチェックを入れ「同意して次へ」**
- 利用規約とサービス概要をご確認ください。

7 **「終了する」**
auかんたん設定が終了します。
続けてARROWS はじめに設定画面が表示されます。
- 「次回からこの機能を起動しない」にチェックを付けると、次回からは表示されなくなります。

8 **「Googleアカウント」を設定**
9 **「からだ設定」を設定**
10 **「完了して進む」→「今すぐはじめる」**
ARROWS はじめに設定が終了します。

memo

◎ 項目によっては、後から設定／変更ができます。

その他の初期設定について

◎ 必要に応じて次の項目を設定してください。
  - Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定
  - PCメールのアカウントの設定
  - 無線LAN(Wi-Fi®)機能の設定

ディスプレイの表示が消えたり、ロック画面が表示されたら

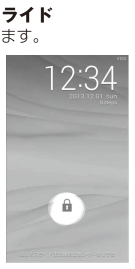
スリープモードを解除する

FJL22を一定時間操作しなかったときは、「スリープ／持ってる間ON」の設定に従って自動的にディスプレイの表示が消えます。

1 **スリープモード中に⏻**
スリープモードが解除されます。
- 操作中に⏻を押すと、スリープモードになります。

画面ロックを解除する

1 **任意の方向に 🔒 をスライド**
画面ロックが解除されます。



memo

◎ セキュリティ解除方法の設定によっては、認証操作を行うとロックが解除されます。
◎ 認証画面で「緊急通報」をタップするとダイヤルパッドが表示され、緊急通報できます。

指紋センサーで解除する

指紋センサーを押してスリープモードを解除し、次に指をスライドさせて画面ロックを解除します。

1 **スリープモード中に指紋センサーを押す**
スリープモードが解除されます。
- 操作中に指紋センサーを押すと、スリープモードになります。

2 **指紋センサーに指をスライドさせる**
画面ロックが解除されます。
- 指紋センサーを押した後に、一度指を離してからスライドさせてください。

memo

◎ 指紋認証で画面ロックを解除するには、「セキュリティ解除方法」を「指紋」に設定します。

基本操作

FJL22の基本操作を説明します。

タッチパネルの使いかた

FJL22のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- ディスプレイが汚れていたり汗や水でぬれていると、タッチパネルが誤動作する場合があります。その場合はディスプレイの表面をきれいに拭き取ってください。

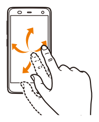
■ タップ／ダブルタップ

画面の項目やアイコンを指で軽く叩いて選択します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ ロングタッチ

画面の項目やアイコンを指で押さえたままにします。ポップアップメニューなどを表示する場合に使います。

■ フリック



ホーム画面やギャラリーなど、複数のページやデータがあるときに画面を上下左右にすばやく払うように触れると、画面が切り替わります。

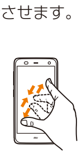
■ ドラッグ

画面の項目やアイコンを指で押さえながら移動します。

■ スライド

設定メニューやWebページ、PDFファイル、静止画の拡大表示時など、1画面で表示されないときに、画面に触れながら移動して表示させます。

■ ピンチ

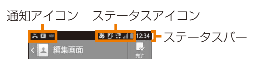


Webページや静止画などの表示中に、画面を2本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、狭める(ピンチイン)と縮小します。

画面について

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーにはFJL22の状態を示すアイコンが表示されます。



主な通知アイコン
新着Gmail
新着PCメール
新着SMS、お留守番サービスEXの伝言お知らせ、着信お知らせ
新着Eメール
GPS測位中

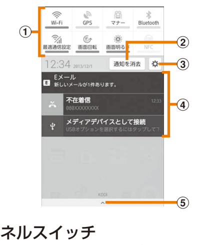
主なステータスアイコン
無線LAN(Wi-Fi®)接続中
／／／ マナーモード(▶P.25)
マルチコネクション有効
／／ パケット通信の利用状態
電波状態
圏外
機内モード

※上記以外のアイコンについては、「取扱説明書詳細版」をご参照ください。

通知パネルについて

通知アイコンが表示されたときは、通知パネルを開くと通知の概要を確認できます。また、さまざまな機能を利用することもできます。

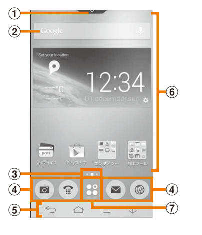
1 **ステータスバーを下にドラッグ**



① **ステータスパネルスイッチ**
各機能のオン／オフなどの操作ができます。
② **通知を消去**
通知パネル内の表示を消去します。
③ **設定**
各種設定を行うことができます。
④ **通知／実行中の項目**
不在着信など、通知の詳細を確認したり、必要な設定を行ったりできます。
⑤ **通知パネルを閉じる**
^を上にドラッグすると通知パネルを閉じます。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、FJL22のすべての操作のスタート地点です。⌂をタップするといつでも表示することができます。
ホーム画面(NX!ホーム)では、次の便利な機能が利用できます。
手書き検索:ホーム画面で☰→「手書き検索」→画面をスライドして文字を入力することで、アプリケーションなどを検索できます。
カンタンフォルダ作成:アイコンを重ねるだけでフォルダが作成できます。格納されているアイコンが表示されるので、アイコンの管理が便利です。
Dockカスタマイズ:最大4件のアプリケーションアイコンを自由に設定できます。フォルダを設定することもできます。
ホーム設定:ホーム画面で☰→「ホーム設定」をタップすると、ホーム画面やメインメニューのデザインテーマの変更やページ編集などができます。
サムネイル表示:ホーム画面で上にフリックするとサムネイル表示になり、ホーム画面の並べ替えや追加、削除ができます。



① **ステータスバータブ**
下にドラッグすると、通知パネルを表示します。
- お買い上げ時の設定ではステータスバータブは表示されていませんが、ステータスバーと同様に操作できます。

② **検索ウィジェット(クイック検索ボックス)**
タップすると、FJL22のアプリケーションやWebページの情報を検索できます。

③ **画面表示位置**
④ **ドック(Dock)メニュー**
アイコンをタップすると、アプリケーションや機能を起動できます。
⑤ **ナビゲーションキー**
↩:前の画面に戻ります。
⌂:ホーム画面に戻ります。ロングタッチで最近使用したアプリケーションを起動／終了できます。
☰:現在の画面で使用できるオプションメニューを表示します。
▽／△:▽をタップすると表示画面が下にスライドします。△をタップすると全画面表示に戻ります。
⑥ **カスタマイズエリア**
アプリケーションのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。
⑦ **メインメニューボタン**
メインメニューを表示します。

ホーム画面からアプリケーションや機能を起動する

ホーム画面のドックメニューやカスタマイズエリアから、FJL22に登録されているアプリケーションやウィジェットなどを起動できます。

1. **ホーム画面で起動するアイテムをタップ**
   - アプリケーションアイコンやウィジェットをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

memo

◎ ウェブページへのリンク、画像の選択時などに、利用できるアプリケーションが複数存在する場合は、アプリケーション選択画面が表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従ってアプリケーションを選択してください。

メインメニューを利用する

FJL22にインストールしたアプリケーションのアイコン／ウィジェットが一覧表示されます。アプリケーションアイコンをタップすると、アプリケーションを起動できます。

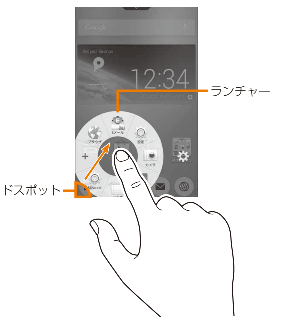
1. **ホーム画面で⊞**
   メインメニューが表示されます。
   - メインメニューで「アプリ」／「ウィジェット」タブをタップすると、アプリケーション一覧表示／ウィジェット一覧表示を切り替えます。
2. **起動する機能／項目をタップ**
   - アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
   - ウィジェットをロングタッチ→ホーム画面へドラッグして、ウィジェットをホーム画面に追加できます。

メニューを表示する

FJL22は、☰をタップして表示するオプションメニューと、入力欄や項目をタップまたはロングタッチして表示するポップアップメニューの2種類のメニューがあります。

スライドイン機能を利用する

画面の端(スライドスポット)から中央方向にスライドすると、任意のアプリケーションをランチャー表示(スライドインランチャー)したり、表示中の画面をキャプチャできる画面メモ機能(キャプメモ)を起動したりできます。スライドイン機能はどの画面からでも表示できるので、よく使うアプリケーションや画面メモ機能をいつでもすばやく起動することができます。


ランチャー
スライドスポット
12:34

マナーモードを設定する

マナーモードを設定すると、公共の場所で周囲の迷惑とならないように、着信音などを鳴らさないようにすることができます。

1. **ホーム画面で☰→「本体設定」→「音・バイブ」→「マナーモード」→「マナーモードを有効」にチェックを付ける**
   ステータスバーにマナーモードのアイコンが表示されます。
   - 携帯電話オプションメニューが表示されるまで、⏻を押したままにして、設定しているマナーモードの種類をタップしても、マナーモードの設定／解除ができます。

memo

◎ マナーモード設定中でも、カメラ利用時のスクリーンショットやキャプメモのキャプチャ音、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音、録画開始／終了音、「Bluetooth Low Energy設定」のFind Me通知音は鳴ります。

タッチブロックモードを設定する

タッチ操作でディスプレイが反応しないように設定できます。子供による誤操作を防止するチャイルドロックとしても使用できます。

1. **携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻を押す**
2. **「タッチブロックモード」→「OK」**
   - 解除するには、⏻を押します。

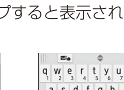
文字入力

FJL22では、ディスプレイに表示されるキーボードを使って文字を入力します。

キーボードについて

キーボードでは、ATOK(NX!input)の日本語、NX!inputの韓国語や中国語(簡体字)、Googleキーボードを使って文字を入力します。
キーボードは、文字入力欄をタップすると表示され、﹀をタップすると非表示になります。

《テンキーキーボード(NX!input)》


《QWERTY キーボード(NX!input)》

memo

◎ Googleキーボードは、主に英数字を入力できます。日本語は入力できません。
◎ 本書では、「NX!input」で文字を入力する場合の操作を例に説明しています。

キーボードの入力方法を切り替える

1. **ホーム画面で☰→「本体設定」→「言語と入力」→「デフォルト」**
2. **入力方法をタップ**
   - 「入力方法をセットアップ」→各入力方法の⚙をタップすると、入力方法の詳細を設定できます。

テンキーキーボードで入力する

1. **QWERTYキーボードが表示されている場合は「MENU」→「テンキー」**
   - 数字入力モードでは半角数字のみ入力できます。
2. **文字を入力**
   - 入力方式によって操作が異なります。

QWERTYキーボードで入力する

1. **テンキーキーボードが表示されている場合は「MENU」→「QWERTYキー」**
2. **文字を入力**

memo

◎ ✎がオン(水色)のときは、キーボードの上でスライドして文字を入力することができます(手書き文字入力)。
◎ 入力したかな文字に対して予測変換候補が表示され、入力したい語句をタップして入力できます。
◎ ⌫をタップすると、カーソル位置の前の文字を削除します。
◎ 「MENU」→「記号」／「顔文字」をタップすると、顔文字、絵文字(入力できる場合のみ)、記号の一覧を表示して入力できます。
◎ 「MENU」→「ATOKダイレクト」→「パスワードマネージャー」をタップすると、パスワードマネージャーに登録したIDやパスワードなどの認証情報を引用できます。
◎ テンキーキーボードでは、上下左右にフリックして各行の文字を入力できます(フリック入力)。また、上下左右にスライドすることで各行の文字や、濁音／半濁音／拗音などを入力することもできます(ジェスチャー入力)。お買い上げ時は「フリック入力」がオンに設定されています。

◎ 文字入力を中断して元の画面に戻るときは、﹀をタップします。

電話

電話をかける

1. **ホーム画面で☎(NX!電話)**
   - ホーム画面で⊞→「NX!電話」をタップしても起動できます。
2. **「電話」→相手の電話番号を入力**
   一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。
3. **「発信」**
4. **通話が終了したら「終話」**
   - 通話中に▲／▼を押すと、受話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。

電話を受ける

1. **電話がかかってくる**
2. **「応答」**
   - スリープモード中やロック画面表示中などに着信した場合は、☎»を右にドラッグしてください。
3. **通話が終了したら「終話」**

自分の電話番号を確認する

1. **ホーム画面で☰→「本体設定」→「プロフィール」**
   お客様の電話番号などが表示されます。
   - NX!電話帳の連絡先一覧でも自分の電話番号を確認できます。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1. **ホーム画面で⊞→「au災害対策」**
   au災害対策メニューが表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1. **au災害対策メニューで「災害用伝言板」**
   - 画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス(～ezweb.ne.jp)が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。
お買い上げ時は、緊急速報メール(緊急地震速報および災害・避難情報)の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1. **au災害対策メニューで「緊急速報メール」**
   受信ボックスが表示されます。
2. **確認するメールを選択→メールの詳細を確認**

memo

◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全に関わる情報をお知らせするものです。
◎ 日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
◎ 緊急速報メールは、情報料、通信料とも無料です。
◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎ 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/(パソコン用)
◎ 電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎ SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。

◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎ お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1. **au災害対策メニューで「災害用音声お届けサービス」**

■ 音声を送る(送信)

「声をお届け」を選択し、「①お届け先を選択※」→「②お届けしたい声を録音」の順で操作してください。
※お届け先は、電話帳からも選択可能です。

■ 音声を受ける(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで、聞くことができます。
※受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応した「au災害対策アプリ」を立ち上げていないスマートフォンや、auケータイの場合、SMSでお知らせします。
※SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

◎ Wi-Fi®でのご利用には、LTE／3Gネットワークにて初期設定が必要になります。
◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎ au携帯電話間、及びNTTドコモ・ソフトバンクモバイルの携帯電話と相互にやりとりが可能です。
◎ メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎ 本体(メモリ)に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

災害情報／義援金サイトを利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害情報ポータル、義援金サイトなどを確認できます。

1. **au災害対策メニューで「災害情報／義援金サイト」**
2. **確認したい項目を選択**

ファイル管理

microSDカードを使う

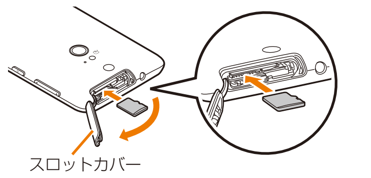
FJL22は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、64GBまでのmicroSDXCカードに対応しています。

- microSDカードのデータにアクセスしているときにmicroSDカードを抜いたり、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- microSDカードのスピードクラスは、Class4以上を推奨します。
- 対応のmicroSDカード／microSDHCカード／microSDXCカードにつきましては、各microSDカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

■ 取り付けかた

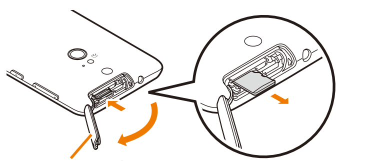
1. **ディスプレイ面を下に向けてスロットカバーを開く**
2. **金属端子面を下にして、microSDカードを水平に奥まで差し込む**



3. **スロットカバーが浮いていることがないように確実に閉じる**

■ 取り外しかた

1. **ディスプレイ面を下に向けてスロットカバーを開く**
2. **microSDカードを軽く押し込み、手を離す**
3. **microSDカードが少し飛び出したら、ゆっくりと水平に引き抜く**



4. **スロットカバーが浮いていることがないように確実に閉じる**

memo

◎ microSDカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
◎ microSDカードの端子部には触れないでください。
◎ microSDカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。

◎ 取り外しの操作をする前に、必ず、データ転送が終了していることを確認し、ホーム画面で☰→「本体設定」→「ストレージ」→「SDカードのマウント解除」→「OK」をタップしてから取り外してください。
◎ アプリケーションによっては、microSDカードを取り付けていないと利用できない場合があります。

機能設定

設定メニューを表示する

FJL22の各種機能を設定、管理します。エコモードやセキュリティなどの設定も、ここから操作します。

1. **ホーム画面で☰→「本体設定」**
   設定メニュー画面が表示されます。
   - ホーム画面で⊞→「設定」をタップしても表示できます。

付録

アフターサービスや主な仕様などについてご確認いただけます。

故障とお考えになる前に

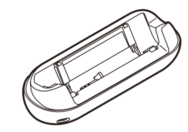
症状	チェックする箇所
電源が入らない	• 内蔵電池は充電されていますか？
充電ができない	• 指定の充電用機器は正しく取り付けられていますか？
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、アプリ起動中に、FJL22や充電用のアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなり、機能が停止する	• FJL22の温度が高い状態が続く場合は、充電または一部機能をご利用できない場合があります。FJL22の温度が下がるのを、お待ちください。
タップしても正しく操作できない	• 手袋をしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ • ディスプレイにシールやシート類(覗き見防止シートなど)を貼っていませんか？ • ディスプレイには、静電式タッチパネルを採用しています。指で直接画面に触れて操作してください。
画面をタップしても動かない	• 電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。 • 画面ロックやタッチブロックモードが設定されていませんか？
ボタンを押しても動作しない	• スリープモードになっていませんか？⏻または指紋センサーを押してスリープモードを解除してください。
電話がかけられない	• au Micro IC Card (LTE)が正しく取り付けられていますか？ • 電話番号が間違っていませんか？(市外局番から入力していますか？)
着信音が鳴らない	• マナーモードを設定していませんか？
電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない	• 回線の混雑によりつながりにくい場合があります。しばらくしてからおかけ直しください。

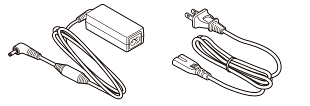
- 上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。
  http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

周辺機器のご紹介

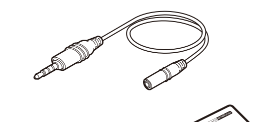
- 急速充電対応卓上ホルダ(FJL22PUA)



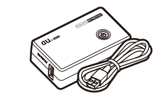
- 卓上ホルダ専用ACアダプタ(FJL22PQA)



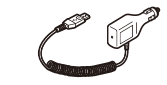
- フルセグ対応TVアンテナケーブル(01FJHSA)



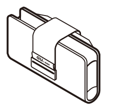
- ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)



- 共通DCアダプタ03(0301PEA)(別売)

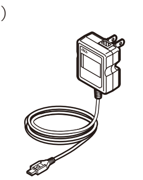


- auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)
  auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)
- microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)
  microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)
  microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)


auキャリングケースFブラック

microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)
microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)

- AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W)(別売)
  AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)(別売)
  AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)(別売)
  AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)(別売)
  AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N)(別売)
  共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)
  共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)
  共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)
  共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)
  共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)
  共通ACアダプタ04(0401PWA)(別売)


共通 AC アダプタ 04

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
- AC Adapter JUPITRIS(各色)は、共通ACアダプタ03と共通の仕様です。

memo

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎ FJL22は、ASYNC／FAX通信は非対応です。
◎ ここで紹介している周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。ただし、一部の周辺機器は購入できない場合があります。
パソコンから:http://auonlineshop.kddi.com/

市販のステレオイヤホンを使用する

FJL22のステレオイヤホン端子にステレオイヤホン(市販品)を接続すると、通話中の相手の声や動画／音楽の再生音をステレオイヤホンで聞くことができます。

1. **ステレオイヤホンのプラグをFJL22のステレオイヤホン端子に差し込む**
2. **「端末のマイク」(FJL22のマイク)／「イヤホンマイク」**
   - イヤホンランチャー設定の「機能を有効にする」にチェックがついている場合は、イヤホンランチャー画面が表示されます。イヤホンを接続して使用するアプリケーションをすばやく起動できます。

memo

◎ ステレオイヤホンプラグをステレオイヤホン端子に接続するときは、ステレオイヤホン端子内部にほこりや水滴などがないことを確認してください。
◎ テレビを視聴する場合は、付属のTVアンテナケーブルとステレオイヤホンを接続してからご利用ください。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新を実行すると、FJL22のソフトウェアを最新にすることができます。

- ソフトウェア更新を実行するには、LTE／3Gデータ通信または無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの環境が必要です。
  LTE／3Gデータ通信を利用した場合は、パケット通信料がかかります。
- 更新する方法は更新のお知らせを受信してから更新する方法と、設定メニューからソフトウェア更新が必要かを確認してから更新する方法があります。更新方法にかかわらず、ソフトウェア更新前と更新後にFJL22が自動的に再起動します。

更新のお知らせを受信してから更新する

1. **ソフトウェア更新のお知らせを受信**
   ステータスバーに▣が表示されます。
   - Wi-Fi®ネットワーク接続中は、▣は表示されず、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードが開始されます。操作4に進みます。
2. **ステータスバーを下にドラッグ→「新しいソフトウェアがあります」**
3. **ソフトウェア更新の画面で「データ取得開始」**
   ソフトウェア更新用データのダウンロードが始まり、完了するとソフトウェア更新の確認画面が表示されます。

■ すぐに更新する場合

4. **「今すぐ更新」**
   FJL22が再起動してソフトウェアが更新されます。

■ 日時を指定して更新する場合

4. **「日時を指定して更新」→日付を設定→「完了」→時刻を設定→「完了」**
   更新開始日時が設定されます。

- 指定した日時になると、ソフトウェア更新開始の通知画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。何も操作しないと約3分後にFJL22が再起動してソフトウェアが更新されます。

memo

◎ FJL22では、定期的(7日毎)にソフトウェア更新が必要かどうかを自動で確認しています。更新が必要な場合に更新のお知らせを受信し、ソフトウェア更新を実行することができます。なお、自動確認時は、LTE／3Gデータ通信を利用するため、パケット通信料がかかります。この機能は、停止することはできませんので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェア更新が必要かを確認してから更新する

1. **ホーム画面で☰→「本体設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「ソフトウェア更新」**
   FJL22のソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。
   - 「お使いのシステムは最新です」と表示された場合は、「OK」をタップして、引き続きご利用ください。
   - 「最新のソフトウェアが見つかりました」と表示された場合は、「更新のお知らせを受信してから更新する」の操作3以降の操作を行ってください。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのFJL22本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額399円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について)

一般電話からは	0077−7−113(通話料無料)
au電話からは	局番なしの113(通話料無料)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)
一般電話／au電話から
0120−925−919(通話料無料)
受付時間　9:00～21:00(年中無休)

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容			安心ケータイサポートプラスLTE	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料 (3年保証)	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,250円	
	水濡れ・全損		10,500円	
	盗難・紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※金額はすべて税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス
◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理
◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

サイズ		高さ約140mm×幅約71mm×厚さ約10.1mm
質量		約149g
連続待受時間※1	国内	約740時間(3G使用時)
		約650時間(LTE使用時)
	海外(GSM)	約770時間
連続通話時間※2	国内	約940分
	海外(GSM)	約680分
連続テザリング時間		約630分(WAN側3G)
		約540分(WAN側LTE)
Wi-Fi®テザリング最大接続数		10台
卓上ホルダでの充電時間		約110分※3
共通ACアダプタ04(別売)での充電時間		約180分
共通DCアダプタ03(別売)での充電時間		約350分
ディスプレイ	種類	RAM搭載TFT液晶
	サイズ	約5.0インチ
	ドット数	横1,080ドット×縦1,920ドット(フルHD)
アウトカメラ有効画素数		約1,310万画素
インカメラ有効画素数		約125万画素
デジタルズーム		最大約12.9倍(32段階)
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠(Wi-Fi®テザリングはIEEE802.11b/g/n)
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.0に準拠※4

テレビ(連続視聴可能時間)※5	フルセグ	約4時間30分
	ワンセグ	約7時間10分

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか弱い場所)などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
※2 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※3 卓上ホルダとACアダプタ(付属品)を接続した場合の時間の目安です。
※4 FJL22およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※5 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

利用できるデータの種類

FJL22は、次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

データ	ファイル形式
音	3GPP、MPEG-4、ADTS raw AAC、MPEG-TS、FLAC、MP3、MIDI Type 0 and 1、RTTTL/RTX、OTA、iMelody、Ogg、Matroska、WAVE、WMA
静止画	JPEG、BMP、GIF、PNG、WebP
動画	WMV9、H.264、H.263、MPEG-4、VC-1、VP8

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について (通話料無料)

一般電話からは	au電話からは
0077-7-111	局番なしの157番

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について (通話料無料)

一般電話からは	au電話からは
0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)
0120-977-033(沖縄を除く地域)
0120-977-699(沖縄)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について (通話料無料)
一般電話／au電話から
0120-925-919
受付時間　9:00～21:00 (年中無休)

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず♻マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2013年11月第2版
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:富士通モバイルコミュニケーションズ株式会社

お客様各位

■取扱説明書記載内容についてのお詫び■

このたびは、FJL22 をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
FJL22 取扱説明書の記載内容に誤りがございましたので、お詫び申し上げますと共に、以下の内容を訂正させていただきます。

■ 主な仕様 （P.44） 共通 AC アダプタ 04（別売）での充電時間

誤）

卓上ホルダでの充電時間	約110分※3
共通ACアダプタ04（別売）での充電時間	約160分
共通DCアダプタ03（別売）での充電時間	約350分

正）

卓上ホルダでの充電時間	約110分※3
共通ACアダプタ04（別売）での充電時間	約180分
共通DCアダプタ03（別売）での充電時間	約350分